

## 「芸能界の危機管理と炎上対策」 高い倫理性が要求される時代のタレント起用の注意点

フジサンケイ広報フォーラム 11月・月例会は、松竹芸能 常務取締役の小林敬宜氏を講師にお招きし、芸能人の不祥事対策などについてお話しいただきました。



小林氏は、芸能人、有名人などの発言が SNS 上で炎上するケースが後を絶たないと話し、こうした炎上はイメージが源泉の芸能人にとってマイナス要素となり、テレビや CM 出演の機会を奪うばかりか、深刻なタレント生命にかかわるダメージとなりうると解説。

一方、SNS はタレント・芸能人には欠かせないツールとなっている現状について、具体例を挙げて詳しく説明。事務所ではソーシャルメディアガイドラインを策定し、タレントやその予備軍、さらには裏方のスタッフにも教育の徹底を図っていると述べられました。

さらに危機管理広報においては、平時のマスコミとの関係作りがポイントであると指摘し、自身の経験を踏まえて、いざというときダメージを最小限に抑える方法なども紹介されました。

講義終了後には、参加者との間で、活発な質疑応答が行われました。

### 講師プロフィール

**小林敬宜** Takayoshi Kobayashi 松竹芸能株式会社 常務取締役

1997年松竹入社。映像部門でライツ、アニメ、邦画の制作・編成を担当。現職は、松竹芸能にてセールスプロモーション・WEB事業部、経営管理部を担当。兼務として、市川團十郎氏のメディア施策・ブランド構築も担当している。